

令和8年（2026年）1月9日開催第11回熊本県地域医療構想調整会議
「御意見・御提案書」による意見及びその回答

県医療政策課

【牛島委員からの意見】

これまでの熊本県地域医療構想においても、回復期リハビリテーションの機能強化や療養継続支援等を目的とした回復期における医科歯科連携推進について取組が記載され、それらを歯科医師会として、研修会の開催や医科歯科連携体制の整備を進めてきており、病床の機能分化と連携を支えてきています。

今後は外来、在宅医療、介護との連携も含めた体制が求められるとのことですが、歯科医療提供体制については、歯科医療機関の減少、歯科医師の高齢化、歯科衛生士不足などにより、地域によっては、今後厳しい状況が見込まれます。歯科医療機関が不足していく地域においては、歯科診療、訪問歯科診療、医科歯科連携を守る必要があり、次年度健康づくり推進課において、詳細な調査が行われるとのことです。そこで、そこも踏まえた構想をお願いしたいところです。

【熊本県からの回答】

御提案いただきました健康づくり推進課が実施する調査も踏まえつつ、丁寧に地域の意見をお聴きしながら、新たな地域医療構想の策定を進めて参ります。

御提案ありがとうございます。